

第15回 高知港海岸地震津波対策技術検討会

議事概要

1 開催概要

日時：令和4年3月1日（火） 13：30～17：00（web会議）

場所：香川県高松市朝日新町1番30号 高松港湾合同庁舎 1F 会議室
（専門家、関係者はweb接続）

目的：本検討会は、高知港海岸の地震津波対策を確実に、また、より効率的・経済的に進めていくため、平成28年9月に設置したものである。高知港海岸は、整備区間内で堤防背後の土地利用や地盤条件等が様々である。別途検討される景観・利便性等にかかる条件にも配慮しつつ、新技術の適用性や対策方法の妥当性等について専門家の助言をいただき、要求性能の確実な確保を図ることを目的としている。

【専門家】

座長 菅野 高弘 （海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 上級専任研究員）
野津 厚 （海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域長）
鈴木 高二朗 （海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸水工研究領域長）
高橋 英紀 （海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域
地盤改良研究グループ長）
宮田 正史 （国土交通省 港湾局 技術企画課 技術監理室長）
（国土技術政策総合研究所港湾研究部併任） 【欠席】

【関係者】

吉永 昌弘 （高知県 土木部 港湾・海岸課 課長）
福留 正充 （高知市 都市建設部 副部長）
水口 幸司 （国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 部長）
相澤 幹男 （国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 所長）【欠席】
【代理 高知港湾・空港整備事務所 副所長 高木 耕造】

2 検討内容

【審議事項】

- ① 湾口地区津波防波堤の基本断面（案）（種崎）
- ② 湾口地区桂浜（外縁護岸）の基本断面（案）
- ③ 浦戸湾地区タナスカ（東孕）の基本断面（案）

3 検討結果概要

1) 湾口地区津波防波堤の基本断面(案)(種崎)

- ① 提案された基本断面（案）は概ね妥当である。ただし、以下の②～③について留意すること。
- ② 堤頭函は、一般的な形状と異なる渦対策形状を有していることに留意し、隣接するケーソンと上部工同士に配筋して連結する対策などを検討すること。
- ③ 工区毎の水平変位の違いによって、パラペットの天端部のずれから越流しないことを確認しておくこと。

2) 湾口地区桂浜(外縁護岸)の基本断面(案)

- ① 提案された基本断面（案）は概ね妥当である。ただし、以下の②～⑤について留意すること。
- ② 局所動水勾配の評価は拘束圧の小さいマウンド直下周辺や表層地盤付近を確認すれば良く、問題が生じるようであれば粒径の比較的小さいフィルター層を設けるなどの工夫をすべきである。
- ③ 背後の掘削勾配や捨石マウンドへの吸出しに留意した対策断面とすること。
- ④ 北側護岸区間③の越流時の洗堀に対しては、天端の高上げによる洗堀深の緩和等を考慮し、設計上有利に働くかどうかを確認すること。
- ⑤ 東側護岸の南側（本浜側）からの越流・浸水が生じないか確認すること。

3) 浦戸湾地区タナスカ(東孕)の基本断面(案)

- ① 提案された基本断面（案）は概ね妥当である。ただし、以下の②について留意すること。
- ② 区間（8）の水域部を有するクレーン部の照査方法は、地震応答解析のモデル内で水域部と接続部の2断面を貼り合わせたモデルで解析する方法と、水域部断面の解析により上部工に発生する反力を抽出し、その反力を接続部断面のパラペット背後から作用させて照査する方法が考えられる。